

<b>グリホサートカリウム塩液剤</b> <b>ラウンドアップマックスロード</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日産  <b>原体メーカー：</b> 日産
<b>成分：</b> グリホサートカリウム塩〔アミノ酸系〕……………48.0%	<b>性状：</b> 淡黄赤色澄明水溶性液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 吸収移行型の除草剤で非選択的にほとんどすべての一年生，越年生，多年生草本及び木本植物に作用する。
- 吸収部位は生育植物の緑色茎葉部，緑色樹皮及び活性のある芽などから行われる。
- 体内移行位は植物の生長部位に移行し，その後地下部へ炭水化物の転流にのって貯蔵増殖部位へ集積し，地上部，地下部全体を枯殺する。
- 遅効性で効果の進行傾向は次の通りである。

雑草	発現	完成
一年生・越年生	2～4日	5～10日
多年生	2～4日	15～20日
スギナ	2～4日	15～30日

- 多年生雑草の中には，散布年には効果の発現が少なく，翌年の再生時期になって枯殺効果がわかるものがある。
- 土壌表面に落下すると直ちに土壌粒子に吸着され，不活性化す。土壌中での移行はない。土壌表面に落ちた活性成分は微生物により分解され水，アミノ酸，炭酸ガス，リン酸となり，土壌蓄積，汚染はない。また揮散もない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- グリホサートを含む農薬であるので，他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ，作物ごとの総使用回数の範囲内で使用する。
- 泥などで濁った水を調製には用いない。また展着剤の加用の必要はない。
- 土壌中で速やかに不活性化するので，雑草の発生前処理効果はない。
- 散布前に雑草の地上部を刈り払わない。

- 通常2～7日で効果が発現し，効果完成までさらに日数を要するので，誤って再散布しない。
- 一年生広葉雑草，又は多年生雑草のうちススキ，セイタカアワダチソウ等を主対象に使用する場合，所定範囲の多めの薬量を使用する。
- 処理後1時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので，天候を良く見極めてから散布する。
- 少量散布の場合は，希釈水量（10 a 当り 5～25 ℓ，又は10 a 当り 25～50 ℓ）に応じ，それぞれ専用のノズルを用いて雑草木の葉面に均一に散布する。
- 本剤の調製及び保管に際しては合成樹脂の内層のない鋼鉄製（ステンレスを除く）の容器類は使用しない。なお散布液を調製した容器及び散布器具は，使用後十分に水洗いする。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 生育の進んだマルバツユクサに使用する場合，所定範囲の多めの薬量を使用する。
- たまねぎ（春播栽培）のスギナに使用する場合，前作のたまねぎ（春播栽培）収穫後のスギナ生育期に散布する。
- 注入処理の場合
  - 雑かん木，間伐するすぎ，ひのきには，樹幹の回りに等間隔にナタ目を入れ薬液を注入処理するか，ドリル等で穴を開けて薬液を注入処理し穴をコルク栓などで塞ぐ。
  - アカギには，根張り付近に等間隔にドリル等で穴を開けて薬液を注入処理し，穴をコルク栓などで塞ぐ。
  - 竹類の竹稈注入処理の場合は，処理竹から15m以内に発生したたけのこを食用に供さない。また，縄固いや立て札により，たけのこが採取されないようにする。
  - クズ・フジ等つる類のつる注入処理に使用する場合は，できるだけ地際に近い部分に，外皮

を木部が現れるように切り出しナイフ等で剥皮（幅1.0～1.5cm、長さ6～8cm程度）し、切り口に薬液が十分付着するように処理する。また、つる径2cmを超えるものは浅めに切り口を1～2カ所つけて処理する。

○クズの株頭注入処理に使用する場合、株頭にナタなどで傷をつけ、薬液がよくしみ込むように注入処理する。

●水田畦畔のアシカキ、ハイコヌカグサ、キシウスズメノヒエ等を使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用する。

●生育期畦間処理に使用する場合、飛散防止カバーを使用し、作物体にかからないように散布する。

●さとうきびの畦間処理で使用する場合は、仮茎長が1.5m以上のさとうきびに使用し、さとうきびにかからないよう雑草茎葉に散布する。また、倒伏したさとうきびに薬液が付着すると薬害が生じるので、かからないよう十分注意する。

●牧野、草地の最終刈取後に使用する場合、雑草が生え揃った時期（草丈20cm以上50cm以下）に散布する。

●作物の出芽前に使用する場合、出芽後に散布すると薬害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布する。

●塗布処理の場合

○雑かん木には、伏採後、直ちに切り口全面に直接塗布する。

○芝の一年生及び多年性雑草には、雑草と芝の高低の差等を利用して、雑草の茎葉に塗布器具等で軽くなでるように塗布する。誤って芝に付着すると薬害を生じるので十分に注意する。

●だいたいの落葉終期～収穫14日前までに使用する場合、特に以下のことに注意する。

○落葉終期とは、だいたいの葉の大部分が落葉した時期とする。

○だいたいの着生葉や葉色に淡緑色が残っている等の成熟の遅れた株（青立ち株）に散布すると、子実の変色やしわ粒等が発生する場合があるので、散布前に除去等を行う。

○水分含量の高い果実をつけた雑草では茎葉が枯れても果実が残る場合があり、汚損粒の原因となるので収穫前に除去等を行う。また、雑草の茎水分含量が高い場合も汚損粒の原因になるので収穫前に除去等を行う。

○気温が低下する条件での処理であり、効果の完成まで2週間以上の期間を要するので、収穫時期は処理後3週間を目安とする。

●適用外作物（農作物、有用作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。

## 【安全対策上の注意】 .....

●魚類、藻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。

●共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。



## 【適用と使用法】 .....

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の使用回数
				薬量	希釈水量			
果 樹 類 (かんきつを除く)	—	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	200～500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500～1000 ml				
		スギナ		1500～2000 ml				
		マルバツユクサ		500～1500 ml				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
かんきつ	—	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	200～ 500 <i>ml</i>	通常散布 50～100 <i>ℓ</i>	5回以内		5回以内	
		多年生雑草		500～ 1000 <i>ml</i>	少量散布 5～50 <i>ℓ</i>				
		スギナ		1500～ 2000 <i>ml</i>	通常散布 50～100 <i>ℓ</i>				
		マルバツユクサ		500～ 1500 <i>ml</i>	少量散布 25～50 <i>ℓ</i>				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生及び 多年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	200～ 1000 <i>ml</i>	少量散布 5～25 <i>ℓ</i>	3回以内		3回以内	
		一年生雑草		200～ 500 <i>ml</i>	通常散布 50～100 <i>ℓ</i>				
		多年生雑草		200～ 1000 <i>ml</i>	少量散布 25～50 <i>ℓ</i>				
		スギナ		1500～ 2000 <i>ml</i>					
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草	雑草生育期	200～ 500 <i>ml</i>	通常散布 50～100 <i>ℓ</i>	1回	雑草茎葉 散布	1回	
		多年生雑草		500～ 1000 <i>ml</i>					
水田作物、 畑作物 (休耕田)	休耕田	一年生雑草		200～ 500 <i>ml</i>	少量散布 5～50 <i>ℓ</i>	3回以内			3回以内
		多年生雑草		500～ 1000 <i>ml</i>					
		スギナ		1500～ 2000 <i>ml</i>	通常散布 50～100 <i>ℓ</i> 少量散布 25～50 <i>ℓ</i>				
水田作物 (水稻を除く)、 移植水稻	—	一年生雑草 及び多年生 広葉雑草	耕起前 (雑草生育期)	200～ 500 <i>ml</i>	通常散布 50～100 <i>ℓ</i> 少量散布 5～50 <i>ℓ</i>	2回以内		2回以内	
		多年生イネ 科雑草		500 <i>ml</i>	少量散布 5～25 <i>ℓ</i>				
					200～ 500 <i>ml</i>				通常散布 50～100 <i>ℓ</i> 少量散布 25～50 <i>ℓ</i>

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
直 播 水 稻	—	一年生雑草 及び多年生 広葉雑草	耕起前 (雑草生育期)	200～ 500ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	2回以内		2回以内	
		多年生イネ 科雑草			通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ				
				500ml	少量散布 5～25 ℓ				
		一年生及び 多年生雑草	耕起直後～ 出芽前 (雑草生育期) (乾田耕起栽培)		少量散布 25～50 ℓ				
			は種30日前 ～出芽前 (雑草生育期) (乾田不耕起栽培)						
麦 類		一年生雑草	耕起前又は は種前まで (雑草生育期)		少量散布 5～25 ℓ	3回以内	雑草茎葉 散布	3回以内	
		一年生雑草 及び多年生 イネ科雑草	は種後出芽前 (雑草生育期)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ				
					耕起前又は は種前まで (雑草生育期)				通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ
			圃場内の 周縁部						収穫前日まで (雑草生育期)
雑 穀 類 (そば、 とうもろこし を除く)	—	一年生雑草	耕起前又は は種前まで (雑草生育期)	200～ 500ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	2回以内		2回以内	
そ ば					通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ				
					多年生雑草				
とうもろこし		一年生及び 多年生雑草	とうもろこし 出芽前まで (雑草生育期)						
豆 類 (種実,但し、 だいず、 あずき、 いんげんまめ、 らっかせいを 除く)		一年生雑草	耕起前又は は種前まで (雑草生育期)						
			収穫5日前まで (雑草生育期： 畦間処理)						

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
だ い ず	—	一年生雑草	耕起前又は 出芽前まで (雑草生育期)	200～ 500㎖	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	2回以内	雑草茎葉 散布	4回以内	
			収穫前日まで (雑草生育期： 畦間処理)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ				
			落葉終期～ 収穫14日前まで (雑草生育期)	500㎖	50～100 ℓ	1回			
え だ ま め			耕起前又は 出芽前まで (雑草生育期)	200～ 500㎖	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	3回以内		1回	3回以内
			収穫前日まで (雑草生育期： 畦間処理)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	2回以内			
野 菜 類 (えだまめ、 はくさい、 キャベツ、 アスパラガス、 レタス、 ねぎ、 たまねぎ、 にんにく、 ほうれんそう、 にんじん、 だいこん、 トマト、 ピーマン、 とうがらし類、 きゅうり、 なす、 びわ(葉)、 オリーブ(葉)、 しゃくやく(薬用)、 たらのぎ、 薬用にんじん を除く)			耕起前まで (雑草生育期)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	1回			
は く さ い キャベツ			耕起前又は 定植5日前まで (雑草生育期)						
レ タ ス									
ね    ぎ					収穫30日前まで (雑草生育期： 定植後畦間処理)			通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	3回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量					
たまねぎ (春播栽培)	—	一年生雑草	耕起5日前まで (雑草生育期)	200～ 500㎖	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	3回以内		3回以内		
			収穫7日前まで (雑草生育期： 畦間処理)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ					
スギナ		耕起又は定植 14日前まで (スギナ生育期)	1500～ 2000㎖	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	1回					1回
一年生雑草		耕起5日前まで (雑草生育期)	200～ 500㎖	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ						
		収穫7日前まで (雑草生育期： 畦間処理)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ		2回以内		2回以内		
		耕起前まで (雑草生育期)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ						
		収穫前日まで (雑草生育期： 畦間処理)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	2回以内		3回以内			
		ほうれんそう		耕起前又は は種前まで (雑草生育期)				通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	2回以内	
		にんじん		耕起前まで (雑草生育期)	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	1回		3回以内		
アスパラガス		収穫前日まで (雑草生育期： 畦間処理)	1500～ 2000㎖	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	2回以内					3回以内
		スギナ		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ		2回以内		3回以内		
だいこん		一年生雑草	耕起前又はは種前 まで(雑草生育期)	200～ 500㎖	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ				2回以内	
			収穫5日前まで (雑草生育期： 畦間処理)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ					
ピーマン とうがらし類			耕起前まで (雑草生育期)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ					
			収穫前日まで (雑草生育期： 畦間処理)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
なす きゅうり	—	一年生雑草	耕起前まで (雑草生育期)	200～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	2回以内	雑草茎葉 散布	3回以内	
			収穫前日まで (雑草生育期： 畦間処理)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ				
トマト しゃくやく (薬用) たらのぎ			耕起前まで (雑草生育期)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	1回			10回以内 (1年間に 2回以内)
薬用にんじん			耕起前まで (雑草生育期)						
オリーブ (葉)			耕起前まで (雑草生育期)	500～ 1000 ml 1500 ml 500～ 1500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	3回以内		3回以内	
		多年生雑草	収穫21日前まで (雑草生育期)						
		スギナ							
		マルバツユクサ							
びわ (葉)		一年生雑草	耕起前まで (雑草生育期)	200～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 5～50 ℓ	1回		3回以内	
		多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	500～ 1000 ml	3回以内				
		スギナ		1500～ 2000 ml					
		マルバツユクサ		500～ 1500 ml					
いも類 (かんしょ を除く)		一年生雑草	耕起前又は 植付前まで (雑草生育期)	200～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	1回		1回	
かんしょ			耕起前又は 挿苗前まで (雑草生育期)			2回以内		2回以内	
			収穫60日前まで (雑草生育期： 畦間処理)						
茶		一年生及び 多年生雑草	摘採7日前まで (雑草生育期)						

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
さとうきび	—	一年生雑草	耕起前又は 植付前まで (雑草生育期)	200～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	4回以内		6回以内
		多年生雑草						
		一年生及び 多年生雑草	収穫60日前まで (雑草生育期： 畦間処理) (但し、仮茎長 1.5m 以上)	500～ 1000 ml		2回以内		
	圃場内の 周縁部	一年生雑草	収穫60日前まで (雑草生育期)	200～ 500 ml				
		多年生雑草		500～ 1000 ml				
牧 草	牧野, 草地 (更新・造成)	一年生及び 多年生雑草	耕起前まで (雑草生育期)	200～ 500 ml	少量散布 25～50 ℓ	3回以内	雑草茎葉 散布	3回以内
		多年生イネ科雑草	最終刈取後： 雑草生育期	500～ 1000 ml				
		飼料用とうもろこし	一年生及び 多年生雑草	飼料用とうもろこし 出芽前まで (雑草生育期)	200～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ		
飼料用さとうきび	一年生雑草	耕起前又は 植付前まで (雑草生育期)	500～ 1000 ml	4回以内	4回以内			
	多年生雑草							
ソルガム	—	一年生雑草	耕起前又は は種前まで	200～ 500 ml	2回以内		2回以内	
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)			耕起前まで (雑草生育期)					
き く			雑草生育期 畦間処理					
			多年生雑草			500～ 1000 ml		4回以内
樹 木 類		スギナ	1500～ 2000 ml					
	マルバツユクサ	500～ 1500 ml						
	林 木	林地, 造林地 (地ごしらえ)	ススキ, サ サ類, クズ 等の多年生 雑草, 雑かん木	生育期	1000～ 2000 ml	30 ℓ	3回以内	
まつ (下刈り)	—					25 ℓ		
桑	—	一年生及び 多年生雑草	発芽前又は 夏切後発芽前 (雑草生育期)	200～ 500 ml	少量散布 25～50 ℓ	4回以内	雑草茎葉 散布	4回以内



作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹 木 等	公 園 , 堤 と う , 駐 車 場 , 道 路 , 運 動 場 , 宅 地 , の り 面 , 鉄道等	一年生雑草	雑草生育期	200～ 500 <i>ml</i>	通常散布 50～100 <i>ℓ</i>	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草木茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500～ 1000 <i>ml</i>	少量散布 25～50 <i>ℓ</i>			
		一年生及び多年生雑草			少量散布 5～25 <i>ℓ</i>			
		スギナ		1500～ 2000 <i>ml</i>	通常散布 50～100 <i>ℓ</i> 少量散布 25～50 <i>ℓ</i>			
		ススキ, ヒレハリソウ, クズ等のつる性多年生雑草, ササ類, 雑かん木		1000～ 2000 <i>ml</i>				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈 倍数	使用液量	本剤の 使用回数	使用 方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数
林 木	林地	クズ・フジ 等のつる類	生育期	原液 又は 2倍液	つる径 使用量 (ml / 株), 2.0 cm以下 0.5, 2.1～3.0 cm 1.0, 3.1～4.0 cm 1.5, 4.1～5.0 cm 2.0, 5.1 cm以上 3.0以上	—	つる注 入処理	—
		雑かん木, 間伐する すぎ, ひのき	雑かん木, 間伐する すぎ, ひのき 生育期		1 ml/カ所, 幹周7～8 cm間隔, 地上30 cm直径 カ所数, 10 cm以下 2～3, 10～15 cm 4～6, 16～20 cm 7～9, 20 cm以上 10以上		立木注 入処理	
		アカギ	アカギ 生育期	原液	1 ml/カ所, 幹周7～8 cm間隔, 地上30 cm直径 カ所数, 10 cm以下 2～3, 10～20 cm 4～8, 20 cm以上 10以上		竹稈注 入処理	
	林地, 放置竹林, 畑地	竹類	夏～秋期		5～10 ml / 本			
畑 作 物	畑地	アカギ	アカギ 生育期		1 ml / カ所, 幹周7～8 cm間隔, 地上30 cm直径 カ所数, 10 cm以下 2～3, 10～20 cm 4～8, 20 cm以上 10以上		立木注 入処理	

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈 倍数	使用液量	本剤の 使用回数	使用 方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数
樹 木 等	公園、 堤とう、 駐車場、 道路、 運動場、 宅地、 のり面、 鉄道等	雑かん木	雑かん木 生育期	原液 又は 2倍液	1㎖ / カ所、幹周7～8cm間隔、 地上30cm直径 カ所数、 10cm以下 2～3、 10～15cm 4～6、 16～20cm 7～9、 20cm以上 10以上	—	立木注 入処理	—
		クズ・フジ 等のつる類	生育期		つる径 使用量 (㎖ / 株)、 2.0cm以下 0.5、 2.1～3.0cm 1.0、 3.1～4.0cm 1.5、 4.1～5.0cm 2.0、 5.1cm以上 3.0以上		つる注 入処理	
		クズ			1～2㎖ / 株		株頭注 入処理	
牧 草	牧野、 草地	雑かん木	伐採直後	原液	切り口直径 塗布量、 5cm以下 2㎖、 5～10cm 3～6㎖、 10cm以上 10㎖以上	2回 以内	切株塗 布処理	3回以内
樹 木 類	林地、 畑地					4回 以内		4回以内
日 本 芝 (のしば)	—	一年生及び 多年生雑草	雑草生育期	5～ 10倍	3～9ℓ / 10a	3回 以内	雑草茎 葉塗布	3回以内
樹 木 等	公園、 堤とう、 駐車場、 道路、 運動場、 宅地、 のり面、 鉄道等	雑かん木	伐採直後	原液又 は2倍 液	切り口全体に 十分量を塗布	—	植栽地 を除く 樹木等 の周辺 地に切 株塗布 処理	—